

PASSION

VOL. 9

宮崎公立大学広報誌

CHANGE!



特集

- ・ 理事長インタビュー / ハラスメント対策
- ・ 飛び出せ！！ MMU
- ・ 学友会
- ・ Welcome 留学生
- ・ Sports Day 2011 / 新入生歓迎会
- ・ 異文化実習
- ・ 部活・サークル訪問
- ・ 公立大生と全国国民生活時間調査との比較～メディア接触の傾向～
- ・ ゼミ訪問
- ・ OB・OG 訪問 / MMU 通信

2011.JULY



ここが聞きたい!

井上雄二理事長 インタビュー

Eight
Questions

8つのQ

昨年度をもって宮崎公立大学一部事務組合は解散し、今年度より宮崎市が「公立大学法人 宮崎公立大学」の設立団体となった。3代目の井上理事長は初めて市の部長からの登用。意気込みやこれからの課題、学生について聞いた。

Q. 理事長の内示をどう受け止めたか?

学生のことを中心に考えれば、結論はおのずから出ると考えています。本学独自のリベラル・アーツ理論を基礎に、人材の育成に努めたいです。

市立化したことで、今年度より更に市との深い連携を図っていきます。

Q. 実際に理事長になって?

「魅力ある大学を」とのことです、昨今の厳しい大学間競争を生き抜くにはどうしたらよいか、魅力ある大学にするにはどうしたらいいか、真剣に考えているところです。これまでの行政経験を活かそうと意欲がわいてきています。

Q. 重点的に取り組む課題は?

入試の志願率を上げることです。そのために、どうしなければならぬかは、すでに投げかけてあります。また、就職率を上げること、ハラメントを根絶することに取り組んでいきます。

Q. 目指す大学像は?

学生や市民、特に地域住民から信頼され、愛される大学を目指します。これまで培われてきたものに磨きをかけたい。そして、輝かせたいと思います。これまでの地域に根差した活動等をさらに発展させていきます。

天の霹靂 青

Q. 魅力ある大学づくりにどう取り組むか?

魅力ある大学にするには、まず大学の独自性や特色を打ち出し、将来にわたって自己改革を行っていく必要があります。そのためには、学生にとって魅力ある大学になることが基本であり、また次代を担う若者を育てる大学として、教職員の意識改革が何より必要だと考えています。



その日に覚悟を決めたので
迷いもなければブレもない

Q. 法人の設立団体が宮崎市となり、どこが変わったか?

法人の設立団体がこれまでの一部事務組合から宮崎市に変わっただけで、大学運営に大きな変化はありません。

平成19年度の法人化により、経営に関する事項と教育研究に関する事項が大別され、これまでよりも柔軟で質の高いサービスを提供できるようになったのです。

Q. 学生の気風は?

ハイカラでもなく、かといって蛮カラでもなさそうだ。災害ボランティア活動、小中学校における英語学習アシスタント活動、中国語コンテストなど、明るく積極性があり、行動力が見られます。

Q. 学生へメッセージを

学生生活をエンジョイしてください。そして、一緒に魅力ある大学にしましょう。週一くらい、学食に行きます。普段、学生と接する機会が少ないので、大学の自治とか造反有理(吉いかな?)など議論をしにきてください!

井上雄二 (いのうえ ゆうじ) 1952年生まれ。熊本県人吉市出身。

1976年宮崎市役所入り。財政課長として三位一体の改革や、教育局長として宮崎市教育基本方針の策定、市民部長として地域コミュニティ税の廃止などを経験。

2011年宮崎公立大学理事長に就任。





知ってる!?

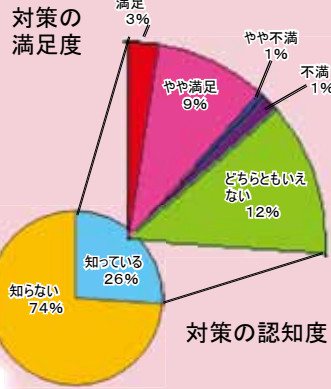
セクシャルハラスメントのこと

2002~10年の8年間に3件ものセクシャル・ハラスメントが発生しました。その為、予防・対策や相談しやすい環境づくりが求められる一方、MMUではどのような対策が行われているのか、2次加害とは何かといったことに焦点を当てました。



公立大学のセクハラ対策についての認知度をチェック!!

6月2日、6日に本学学生を対象にアンケートを実施しました。その結果、311人から回答を得ることができました。本学のセクハラ対策を知っている?その満足度は?という質問に対する回答を集計!!



対策は学生にあまり知られていないようで、「知らない」と答えた人が4分の3を占めています。また、「満足している」と答えた人は約1割と少ないみたいです。
311人の回答のうち37人の学生より意見が寄せられました。『セクハラをした人は辞めさせるべき。両親や他大学の友人に処罰の甘さについて驚かれる』『あの先生が戻ってくるのが嫌』という処罰の甘さに対する不満を訴えた学生が18人。『被害者が相談しやすい環境作りを』『教員の部屋をオープンにし

公立大学の対策

本学では、教職員向けに研修を行っています。

また、対策としては、

- ☆今までのルールを見直し、基準を厳格に定めた新しいハラスメント防止・対策に関する規程を制定
- ☆昨年のアンケートの結果を掲示
- ☆HP・ガイダンスによる情報提供などを実施しています。

しかし、ハラスメントをなくすには、教職員だけでなく、学生の意識向上も不可欠です。後期のガイダンスに映像資料を用いての学生向けの研修も予定されています。

てほしい』とセクハラを防止するための要望が6人。『知ろうとしない自分にも問題があるが、もっと目につく場所に情報を掲示してほしい』『もっと新入生に分かりやすい情報提示を』とセクハラ対策への意見が6人。『NOセクハラ』『二度と起こらないようにしてほしい』とセクハラ断絶を望む意見が4人などの本音が爆発。不満を抱えていることが分かりました。

また、『セクハラは女の方にも責任があるのでは』『少し触られたぐらいなら避ければいい』といった意見も寄せられました。

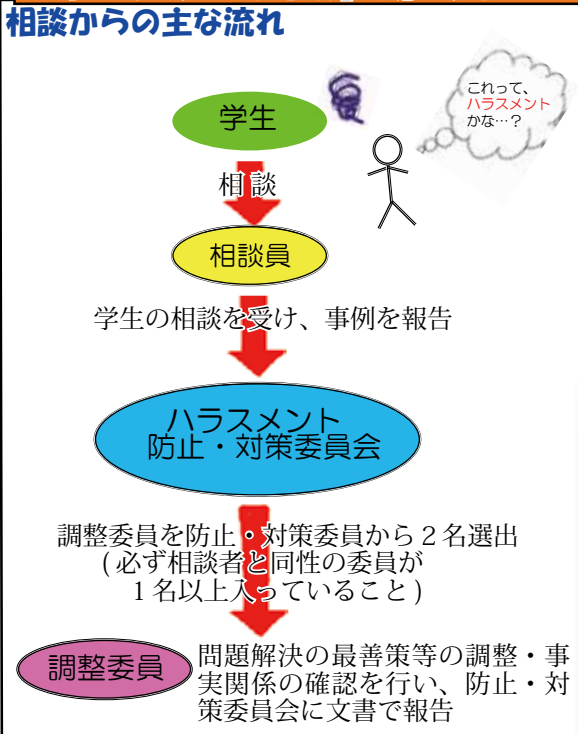
四方先生の見解 & STOP!! 2次加害!!

四方先生にお話を伺ったところ、ハラスメントは複合的に起こることが多いということです。

主なハラスメントには、アカデミック、セクシャル、パワー（権力）、ジェンダーなどがあります。

また、「被害者にも責任があるのでは?」といった被害者を責めるような考えや言動は2次加害になるそうです。私たちが加害者にならない為に、お互いを思いやり、尊重し合うことが大切です。ハラスメントを知り、権利意識を高く持つことが結果的に私たち学生を守ることになるとおっしゃっていました。

「これってハラスメント!?!」と思ったら・・・



本学では、土壌からの改善を目指してハラスメントへの対策を強化しています。しかし、「これってハラメントなのでは?」と疑問に思うような出来事に遭遇した時は、迷わずにすぐに相談しましょう。

有馬先生、森津先生
【相談員】 有馬先生、森津先生
染矢学生相談員、松本看護師
【相談員】 梶原さん（就職活動支援室）

また、相談員の先生方はセクハラに対する十分な知識と、相談員のための研修をしっかりと受けています。訴える以外の方法でも、親身になって一緒に解決策を考えてくれる頼りになる先生方です。安心して相談してください。

正確でスピードのある事実把握を!

(友利絵理佳・山下由香)

New!! 学友会



名前：宮崎卓也さん（3年）
所属ゼミ：英語教育学ゼミ
出身地：宮崎県
部活動：軟式テニス
軽音楽部



Q1 学友会とはどのような組織ですか？

学友会は2010年度に誕生した、執行部・体育部・文化部・凌雲祭実行委員の4つの組織から構成される自治組織です。主に、部活動やサークルの施設利用や、団体の設立・昇格について協議したり、スポーツデイや部活動紹介などのイベントの企画・運営を行っています。

ことにより、より計画的で効率的な予算配分が可能となりました。

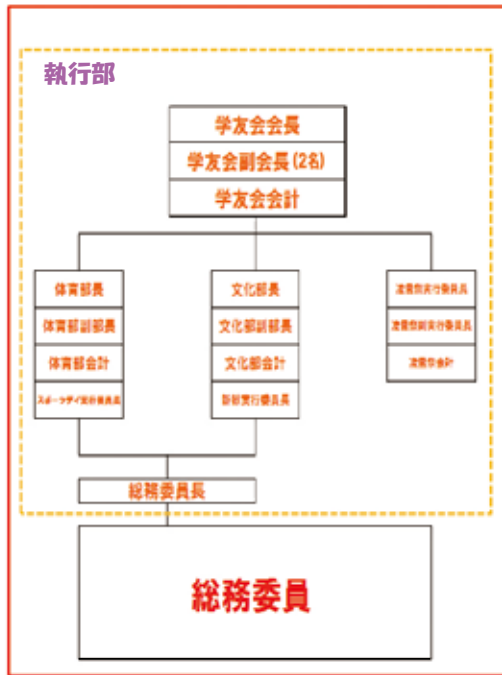
二つ目は、自治組織化したことで、現在、施設利用・サークルの設立・部昇格等を、全て学友会で協議して決定しています。各団体の活動状況を把握している学生同士が話し合うことで、各団体の活動状況などが良く分かり、各部の状況に見合った

最近では、2011年3月11日に起きた「東日本大震災」の際に、学生から募金活動をしたなどの強い要望を受け、学友会が中心となって募金活動を行いました。

Q3 現在どんな仕事をしているのですか？

現在は、一連のイベントが終了した

～学友会組織図～



Q2 「課外活動団体連合」と何が違うのですか？

以前とは3点変わりました。

一つ目は、会計処理の一元化です。これまででは、スポーツデイ・新入生から、学生全体の代表である「学友会」の企画ごとに別々に処理されていた「凌雲祭等の会計はそれぞれ」となったことです。学友会は、宮崎公立大学の学生全体で何かをやりたい時、それを具体化するという中で一元的に予算・決算処理を行う役割を担っています。

二つ目は、部・サークル代表の集

三つ目は、部・サークル代表の集

判断が可能になりました。

た施設提供や、団体の設立・昇格の

Q4 今後、学友会をどのような組織にしたいですか？

学友会とは、学生がよりよい生活を送れるよう、学生の要望を叶える組織だと考えています。前年度は、役員が8人しかいませんでした。イベントの時には、学友会外のボランティアの学生に運営の手助けをしてもらっていました。しかし、やはり運営していくには人数が必要だということで学友会役員を募集し、今年度は27名の新学友会役員が誕生しました。これも、前年度の学友会のみならずの活躍あつてのことだと思えます。活躍すれば、学生が学友会の存在を知ってくれます。その結果、教員、事務局、そして学生の代表としての学友会、という3つの力が共存していければいいと思います。

Q5 学生に一言お願いします。

みんなが不満なく、充実した生活を送れるようバックアップしていきたいです。要望などがあれば、気軽に声をかけてください。僕に会いに来てください!!どこにでもあります!(学友会の誰かに、僕の連絡先を聞いてくださいね。)(堂園実華)

合ったり、サークルの設立を希望する団体の代表者と、団体設立のための協議を行っています。

Q4 今後、学友会をどのような組織にしたいですか？

学友会とは、学生がよりよい生活を送れるよう、学生の要望を叶える組織だと考えています。前年度は、役員が8人しかいませんでした。イベントの時には、学友会外のボランティアの学生に運営の手助けをしてもらっていました。しかし、やはり運営していくには人数が必要だということで学友会役員を募集し、今年度は27名の新学友会役員が誕生しました。これも、前年度の学友会のみならずの活躍あつてのことだと思えます。活躍すれば、学生が学友会の存在を知ってくれます。その結果、教員、事務局、そして学生の代表としての学友会、という3つの力が共存していければいいと思います。

Welcome 留学生

宮崎公立大学には毎年、協定校である中国・蘇州大学と韓国・蔚山大学から2名の交換留学生在が来ています。今回は交換留学生4名を紹介します。



留学生たちとホストファミリー

留学生達に5つの質問をしました。

- Q1、日本に来て、一番びっくりしたことはなんですか？
- Q2、日本語の中で一番好きな言葉はなんですか？

- Q3、日本の大学生生活と母国の大学生生活の違いはなんですか？
- Q4、日本料理の中で一番好きな食べ物はなんですか？
- Q5、日本のどんなところが好きですか？



ソウ エイ
曹 栄さん
国際協力・地域経済ゼミ

- 1、物価が高い。自転車をこぎながら傘をさすのが特技みたいです。
- 2、一期一会
- 3、日本の大学生はアルバイトをしますが、中国の大学生はほとんど勉強だけです。
- 4、お刺身
- 5、日本人は親切で優しいです。



キム アヨン
金 娥暎さん
社会学ゼミ

- 1、町が綺麗で静かなところにびっくりしました。
- 2、大好き、かわいい
- 3、勉強が厳しくない、テストも厳しくないところです。
- 4、どんぶり
- 5、周りのひとに迷惑をかけないように行動をするところが好きです。

韓国・蔚山大学からの交換留学生

中国・蘇州大学からの交換留学生



蘇州大学の寮



コウ ゲツ
孔 月さん
国際関係論ゼミ

- 1、1つの授業が長すぎます。
- 2、もてなしの心
- 3、中国では日本語の勉強しかできない、日本でいろいろな勉強ができます。
- 4、お寿司
- 5、礼儀正しいです。



キム スジ
金 秀智さん
社会心理学ゼミ

- 1、日本人は年齢に関わらず、みんな自転車に乗っています。/外国人にとっても優しくしてくれます。/はじめは日本の物価が高いので、食品も高いと思っていたが、意外にスーパーでは安かったです。
- 2、おはよう、そうなんや
- 3、授業時間と試験の違い(表参照)
- 4、もつ鍋
- 5、休日が多いこと、祭りが多いこと。



蔚山大学のキャンパス

<表>宮崎公立大学と蔚山大学校の違い

	宮崎公立大学	蔚山大学校
授業時間	長い(90分)	短い(50分)
昼食	12:00 ~ 13:00	なし
試験	2回/年	4回/年

(秦 蕾)

Sports Day 2011

5月20日(金)にスポーツデイが行われました。午前の部は5人6脚、10人11脚、15人16脚、午後の部はミニバレーが行われ、サークルやゼミなどで集まった計104チームが、各種目1位を狙い汗を流しました。

開会式



チアリーディング

転ぶの怖いけど
おもしろい!



大人数になると
やはり難しい
ようです...

5人6脚

優勝 P.S.dad

10人11脚

優勝 P.S.mam

15人16脚

優勝 チームアルコール



チームの団結力が
絶対条件!



めげせ! No.1!!
頑張るぞp(^_^)q

事務局の方々も
張り切っていました!

ミニバレー

優勝 男子バレー部

2位 Sports Health Science Team

3位 リアル・モンキーズ

→隣りは体育部副部長の
榎木田恵里奈さん



実行委員長にインタビュー

多くの団体に参加して頂いたこと、またいろんな面で活動を支えてくれた人たちにとても感謝しています。4年生にとっては最後のスポーツデイだったので、満足していただけたのであれば大変嬉しく思います。来年も今年の反省を生かし、多くの学生に楽しんでもらえるようなスポーツデイを作り上げますので、是非とも期待してください!



学生会体育部長
3年 甲斐翼さん
教育学ゼミ

Tシャツコンテスト

優勝  WINDMILLの会



同じアパートの仲間徹夜して作ったそうです。
某少女アニメをモチーフに…。

開会式はTシャツコンテストで大盛り上がり。
それぞれのチームで工夫を凝らした個性的なものが勢揃いしました。



1年生も基礎演習の仲間と一緒に♪



毎年先生も出場の有馬ゼミ



1年生も基礎演習の仲間と一緒に♪

新入生歓迎会

スポーツのあとは唄って食べて。ステージでは軽音部・応援部・アカペラ部・ダンス部の2~4年生によるパフォーマンス、ゲーム機・デジカメなどの豪華景品が当たるビンゴ大会も行われ、大いに盛り上がりました。



軽食やお菓子
ジュースのサービスも

軽音



みんなの仲がさらに深まりました



アカペラ



会場には多くの1年生が来てくれました



ダンス



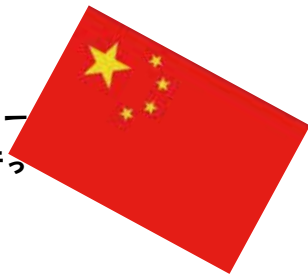
先輩たちの見事なパフォーマンス!



ビンゴ!
景品は何かな?



異文化実習



2月中旬～3月中旬の1か月間、学術交流協定校であるニュージーランドのワイカト大学と中国の蘇州大学へ異文化実習に行ってきました！

New Zealand



石田 愛さん

3年 宮崎県出身

広告コミュニケーションゼミ

Q1 NZへ行って感じたことは？

まず時間がゆっくり流れていることに驚きました。

それと、人が優しい！

Q2 NZへ行く前と後で変わったことは？

時間を大切にしなきゃ！と強く思いました。日本では時間に追われている気がして・・・



自然豊かな公園♪

Q3 NZでの印象に残ったことは？

日曜日にミサに行ったのですが、イメージと全然違ってビックリしました！ 静粛な感じではなくてロックな感じでした(笑)

ミニゴルフ体験♪



現地の方と♪



Q4 みんなに伝えたいこと！

異文化実習は、普段日本では味わえない、自分を見つめなおすチャンスです。私は、ホームステイで見ず知らずの私を受け入れてくれたホストファミリーの優しさに感動しました。ぜひ、みんなも行ってみてください！



CHINA



新垣 杏奈さん

2年 沖縄県出身

中国文化論ゼミ

Q1 中国へ行く前と後でイメージは変わりましたか？

行く前まではメディアからの影響で良いイメージはありませんでしたが、実際行ってみるとみんな優しいし、印象はすごく変わりました！ 中国語も楽しくなってきました！

万里の長城！



Q2 困ったこと・大変だったことは？

日本とは常識も生活習慣も違うし生活になれることが本当に大変でした。

Q3 中国での印象深いことは？

中国語はできないけど、色々な国の人と友達になることができました。英語も中国語もやっていきたいと感じました。

北京オリンピック会場！



木極拳！！！！



NEWS!!

Q4 みんなへメッセージを！

新垣さんは、6月に宮崎公立大学で行われた中国語コンテストで見事大賞を受賞し、10月には東京の孔子学院大学のコンテストへも出場しました！

異文化実習への参加は、とにかくゴリ押しします！ まずは行って見て！ 行かないと何もわかりません！ 行動力が大事！ 一歩踏み出す勇気です！

(濱村佳奈)

学生 ボランティア部

部活・サークル 訪問
Vol.9

今回は学生ボランティア部を紹介します。
全国に5か所しかないとても貴重な部活動です。
新部長の河野涼香さんにインタビューしました。



Q1 入部しようと思ったきっかけはなんですか。

最初は友達に誘われたからでしたが、実際に説明会で話を聞いてみて、自分自身興味を持つようになりました。普段接することのない人との出会いに魅力を感じ、入部しようと思いました。

Q2 具体的な活動内容を教えてください。

家庭裁判所・宮崎少年友の会と連携して、2〜3人1組で試験観察中の少年と定期的に面会し、学習援助活動や話し相手になる活動（通称…ケース活動）を行っています。

そして、毎週の部活の中で活動を振り返ったり、次の活動に生かす為の話し合いをしています。



部員募集中!

計画中です。

Q3 入部して良かったことを教えてください。

今まで出会うことなかった人との貴重な出会いや、人の気持ちについて、より考えるようになったことですね。

Q4 逆に大変だったことはなにかありますか。

大変だと思えることはありませんが、ケース活動を担当している部員をどうやって皆でサポートするかや、少年や外部の方たちの期待に応える活動ができていないかなど、悩むことはあります。

Q5 部活の雰囲気はどうですか。

仲が良くて、プライベートでも遊んだりしますね。毎回の活動にもみんな積極的に参加してくれます。部員の仲の良さや団結力はほかの部活動に負けません！



名前：河野涼香さん
学年：3年
所属ゼミ：社会心理学ゼミ

Q6 最後に、これからの目標を教えてください。

部員も増えて、学ボラとして出来ることが増えてくると思うので、みんなと協力してこれからの活動を充実、発展させたいです。



活動報告中!

部員数	32人
顧問	川瀬 隆千 教授
活動時間	木曜 18時～19時半
活動場所	凌雲会館会議室
活動内容	学習援助活動 家庭裁判所見学 少年鑑別所見学 活動報告会 合同合宿 など

公立大生と全国国民生活時間調査との比較

メディア接触の傾向

調査概要

私たち広告コミュニケーションゼミでは宮崎の活性化を目的とした「宮崎をプロモートする」というテーマで研究を行っている。今回の調査は今後の研究への活用を目的としている。

調査1では、NHKの2010年全国国民生活時間調査と同じ項目内容のアンケートを宮崎公立大学で実施・集計し、各項目の結果を全国の学生と比較・検証することで、公立大生の生活の特徴を調査した。

調査2では、NHK国民生活時間調査の比較アンケートと同時に、公立大生のメディア接触状況を調べた質問項目を朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・産経新聞・日経新聞・宮崎日日新聞（以下宮日新聞）・宮崎放送（以下MRT）・テレビ宮崎（以下UMK）・NHK・MRTラジオ・NHKラジオ・FM宮崎・サンシャインFMに分類し、図1のようなアンケートを行った。

調査方法は、配布回収法によるブ

リコード方式で調査対象日は6月2

日、5日、9日とした。有効調査数は

227人で、そのうち女子75.3%

(171人)、男子24.7%(56人)

であった。また、年齢は18歳から

26歳である。調査対象者の出身地は、

県内が49.4%、県外が50.6%で、

住居形態は一人暮らしが63.2%、

家族と同居が34.2%、その他が2.

6%であった。

利用頻度のアンケート例 (図1)

質問項目に対し利用尺度を4段階で提示し、あてはまる尺度に丸を付ける。

- 1、全く利用しない
- 2、あまり利用しない
- 3、時々利用する
- 4、よく利用する



調査結果1

まず、平日の公立大生は全国平均と比較して、在宅時間が約3時間短い。テレビの視聴時間が約1時間以上短い。付き合い(メールを含む)に充てる時間が約4.5倍と大変長い。(表1参照)

平日の公立大生は、全国平均と比較して在宅時間が約2時間短い。テレビの視聴時間が約1時間以上短い。付き合いに充てる時間が約4倍と大変長い。(表2参照)

表1・2から公立大生の平日・休日のどちらの行動においても、「在宅時間」、「テレビ」の行為時間が短く、「付き合い」、「インターネット」の行為時間が長いという傾向が見られた。次に、平日と休日の生活行動を比較してみると、「在宅時間」、「テレビ」、「付き合い」、「インターネット」の全項目において、休日の行為時間が長いことがわかった。

平日 (表1)

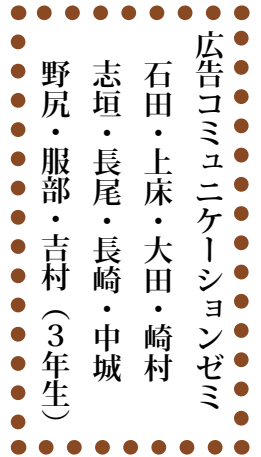
	公立大	学生(全国)
在宅時間 ^{*1}	9h54m<	13h14m
TV	0h54m<	1h57m
付き合い	1h36m>	0h20m(10代)
インターネット	0h48m>	0h26m(10代)

休日 (表2)

	公立大	学生(全国)
在宅時間	14h06m<	16h06m
TV	1h30m<	2h38m
付き合い	2h00m>	0h32m(10代)
インターネット	1h06m>	0h50m(10代) ^{*2}

また、全国平均と比べて「趣味・習い事」の時間が短く、「雑誌・マンガ・本」、「CD・デジタルオーディオプレイヤー」、「ビデオ・HDD・DVD」などの一人で出来る娯楽に費やす時間も短いことが分かった。(表3参照)

*1 在宅時間には睡眠時間も含む。
*2 学生のデータが少ないため、傾向が似ている10代のデータで代用した。



休日の娯楽に費やす時間（表3）

	公立大生	学生
趣味・習い事	0h40m	1h33m(10代) [※]
雑誌・マンガ・本を読む	0h12m	0h28m
CD・デジタルオーディオプレイヤー	0h18m	0h23m
ビデオ・HDD・DVD	0h03m	0h22m

調査1では、NHKの全国調査との比較により、公立大生の特徴として以下のことが分かった。

- ・在宅時間が短い
- ・趣味・習い事の時間が大変短い
- ・テレビの視聴時間が大幅に短い
- ・メールを含む交際時間が大変長い
- ・インターネットやメールの利用時間が長い

これらのことより、公立大生は趣味・習い事などの一人でできる娯楽に費やす時間が短く、自由な時間の多くを友人と過ごしている。さらに、在宅時のメディア利用においても、娯楽目的のテレビよりコミュニケーションツールやメールの役割が大きいインターネットやメールなどを好む傾向が見られた。以上より、積極的なコミュニケーションを好む公立大生像がうかがえるのではないか。

調査結果2

調査2で公立大生のメディア接触について調べた結果を媒体別にみると、テレビが最も頻度が高く、続いて新聞、ラジオが最も低かった。(表4・5参照)

新聞（表4）

宮日新聞	1. 83
朝日新聞	1. 58
毎日新聞	1. 43
読売新聞	1. 42
産経新聞	1. 22
日経新聞	1. 08

テレビ・ラジオ（表5）

UMK	3. 32
MRT	3. 23
NHK	2. 63
FM宮崎	1. 41
MRTラジオ	1. 29
サンシャインFM	1. 21
NHKラジオ	1. 16

利用頻度を、それぞれの媒体別にみていく。テレビでは、3局クロスネットであるUMKを最も頻度が高いと予想していたが、予想の通りとなった。一方で、UMKと差が出ると思っていたMRTがUMKとあまり差がなかった。

次に新聞では、地元紙である宮日新聞が最も頻度が高かった。これは、県内での宮日新聞の普及率が43.7%（2007年）で他紙よりも多いことと関連して、公立大生も宮日新聞をよく利用しているようだ。

最後に、最も利用頻度が低かったラジオの中では、FM宮崎が一番聞かれていた。FM宮崎はJFN系列の放送局であり、TOKYO FM等の全国放送が放送されており、若者向けの番組が多いことが関係していると考えられる。

テレビ以外のメディアの利用頻度が、宮日新聞の1.83を最高値に、すべて2を下回っていた。

以上の結果から、公立大生はテレビ以外のメディアをあまり利用していないことがわかった。

まとめ

調査1の結果では、公立大生は全国平均と比較して、①在宅時間が短い。②一人でできる娯楽に費やす時間が短い。③交際時間が長い。という3点の特徴があった。この特徴から、公立大生が一人で過ごすよりも、友達や家族と過ごすことを好んでいるということが考えられる。

調査2の結果では、公立大生はあまりマスメディアを利用していないことがわかった。

最後に、調査1と調査2の結果を踏まえると、公立大生はテレビ以外のマスメディアからの情報収集をあまり行っていない、むしろメールなど、友達間のコミュニケーションでの情報交換を主としているのではないだろうか。





手をつなごう！

国際フェスティバル



名前 中野 愛梨さん (3年)
所属ゼミ 国際法・国際機構ゼミ
出身地 鹿児島県



インターナショナルマーケット（郷土料理、フリーマーケット、国のパネル紹介）を通して、宮崎に住む人々が在宮外国人や海外で活躍する方々と相互理解・友好親善を促進し絆を深めることによって、「国際」が実は身近にあることを感じてもらい、将来の進学や進路として海外に目を向け、国際都市としての宮崎の可能性を感じてもらおうというイベントです。

Q1、どのような経緯で参加することになり、参加しようと思った動機は何ですか？

社団法人宮崎青年会議所の知り合いの方からボランティアを依頼されたので参加することになりました。たくさんボランティアスタッフがいた方が良いとのことだったので、ミクシイで呼びかけたり、公立大のボランティアサークルである注1「SOW」の方にも呼びかけをお願いし、スタッフを募りました。

Q2、当日どのような活動をされましたか？

当日は出店班、募金班、子供たちとの触れ合い班に別れて活動しました。参加型の活動で、担当者の方から「自分たちも楽しみながら活動してください」と言われていたので、自分たちも実際に出店ブースを見て歩き回ったりして楽しみながら活動させていただきました。出店班は出店する方たちの



飛び出 ～学生による

販売の手伝いをし、募金班は呼びかけ、触れ合い班は子供たちを整列させたり、備品を運んだりなどが仕事内容でした。

Q3、イベントの趣旨である「他国との相互理解・友好親善の促進」について、参加して実際にどのように感じましたか？

宮崎在住の外国の方たちが各国の郷土料理を紹介、販売していましたがその多さに驚きました。宮崎という日本の南の端の県ですが、これほど多くの外国の方たちが住んでいるとは知りませんでした。

現在世界はグローバル化と言われていますが、人の移動、行き来も活発だということを感じました。身近に「国際」が存在していることを感じ、もっと他国の文化、言語について学びたいと思いました。このような他国、異文化への興味、「学びたい」「知りたい」が相互理解・友好親善促進の第一歩になるのではないかと思います。

Q4、今回、学外での活動ということですが、大学内では学べないどのような経験ができましたか？

普段は大学内の人と接することが多いですが、このような催しによって外国の方たちはもちろん、地域の皆さんの様々な活躍、活動を目の当たりにして一つの「社会」を感じました。

当たり前のことですが、それぞれの活動によりそれぞれが支えられ、活躍し、社会は成り立つのだと思いました。実際に学外で活動すると、学内では経験することのできないことができるのでとてもいい刺激になりました。

注1 「SOW」：「地球市民の会」をコンセプトとするボランティアサークル。主な活動としては講演会の主催や、エコキャップの回収など。



(河野一郎・中馬ひろみ)



Q1. 今回、学校外での取り組みでしたが具体的にどのようなことをしたのですか？

チャリティーの古着屋（revival）を開いて、その売上金を被災地へ寄付する活動をしました。そのために、大学内外から衣類を集め、街で店舗を借りました。約2か月間、たくさんの人たちの協力を得て店を運営しました。

Q2. そのような活動をするにあたってどのような思いがあったのですか？

震災が起きたとき、すぐ自分にできることはないかと考えました。自分は学内でファッションサークルをやっていることもあり、服に関することで被災地の方々のために何かしようと思いました。そして、やるからには中途半端ではなく本気でやろうと思いました。

Revival

～熱い思いを形に、今自分にできること～

revival（復興）の名前通り、3月11日に起きた東日本大震災の復興に向けて何か自分にできることはないかと立ち上がった大田真悟さんが立ち上げたお店です。オープンするまでの努力、苦勞、そして実現できたときの喜びなど、彼の熱い思いを取材しました。



名前 大田 真悟さん（3年）
所属ゼミ 広告コミュニケーションゼミ
出身地 宮崎県

Q3. 活動を通して苦勞したことは何ですか？

服集めと店舗を借りるときです。服を集めるときに自分の知っている友人等に協力してもらい、今回の趣旨を再三説明しましたが、服を回収する際はほんの数着しか集まりませんでした。また、店を借りる際も、学生が遊び半分で店を出すと思われ、なかなか店を開くための場所が決まりませんでした。

Q4. 今回の活動のなかで、いろいろな人からの協力があつたと思いますが一番実感したのはいつですか？

やはり最初に洋服を集める段階の時です。初めは店を開くのも難しいほどの量しか集まらなかったのが最終的には、店内に出し切れない程の服が集まり、本当に皆さんに感謝の気持ちでいっぱいでした。

Q5. 最後に、今回の活動は学校外ですが、学校内では得ることのできない経験はありましたか？

今まで、こういう形で自分の店を運営したりすることはなかったので、普通に学生生活をおくっていたらこんな経験はできなかったと思います。また、今回のチャリティーショップを開くにあたって、学校内外から多くの方々が訪れてくださって、被災された方々へのメッセージをガラス一面に書いてもらいました。ガラスがメッセージでいっぱいになって、店を閉めるときは感動して、この活動をしてよかったと思いました。

このコーナーは、公立大を飛び出して学校外で活躍している人にスポットを当てて、紹介するものです。

世★MMU る課外活動～



広瀬 訓 教授

福島県出身

1961年7月4日生まれ

趣味はアロハシャツ集め

国際基督教大 大学院

行政学研究科修了（行政学専攻）



ゼミ訪問

VOL.9

～国際法・国際機構～

今回のゼミ訪問では、学内で一番アロハシャツが似合う広瀬先生にインタビューをしました。

―ゼミの活動内容は？

2年生の時には国際問題に関する基本的な本を1冊、みんなで読み進めます。3年生になると国際法の入門的なテキストをみんなで1冊読み進めます。4年生になったら卒論ですね。

―先生がゼミの中で一番力を入れていることは？

ゼミ生ひとり一人が自分の考え、あるいは自分の意見を組み立てられるようになってほしいと思うので、いかにしてそれを支えるかということに一番力を入れています。

―ゼミ生に求めていることは？

自分で考え、判断するということです。

―学生にメッセージをおねがいします。

ぜひ、いろいろなことに挑戦してみてください。必ずそれがこれから生きてくると思います。

今年のグローバル研究会では

Oxfam と日本の NGO

～わたしたちの提案～

というテーマで発表を行いました。



ゼミ生にもお話を聞いてみました。

―ゼミを選んだきっかけは？

広瀬先生の話聞くのが好きで、いろいろな話をもっと聞きたいと思ったからです。あとは国際関係に興味があり、戦争について学びたいと思っていました。

―ゼミの魅力は？

世界で起こっている様々な問題を知ることができるのと、先生が国連で働いていた時の話や、学会とかの話の聞け

ることです。すごく為になります！

―ゼミに入ってよかったことは？

自分が全く知らなかったことを知ることが出来て、知識が増すことです。あとはゼミ生が積極的なところです。

―ゼミで大変なことは？

3年生になって使っている国際法のテキストが全て英文なので、読んで理解することが難しいです！

―広瀬先生はどんな人？

広瀬先生はいろいろなことを知っていて話が尽きません！知識豊富で興味を引く話をしてくれる



先生です。また、常に客観的に物事を見ることが出来る先生だと思います。

(久保田安奈)

OB・OG 訪問



名前：飯干英治（いひぼしえいじ）
 所属ゼミ：笹谷 孝教授（英語科教授法ゼミ）
 出身校：県立高鍋高校
 好きな言葉：Take it easy ★

今回は、第2期生で現在都城泉ヶ丘高校で英語を教えている、飯干先生にお話しをお聞きしました。

Q1 教師になろうと思った理由は？

小学校5年生頃から教師になりたいと思っていました。高校の英語教師を志したのは、高校3年の夏からです。私自身が高校時代が一番楽しかったというのが最大の要因です。英語は特に好きというわけではなく、また周囲の人より出来がいいわけでもなかったです。（笑）

Q2 どんな学生時代を送っていたか？

「勉学に勤しんだ」と胸を張って言いたいのですが、バイトと部活（野球）、あとゼミが大学生活の大半を占めていました。バイトは、プールの監視員からパートの店員、塾講師などをしていました。全てがいい経験です。ゼミでは、ゼミの研究テーマについてはもちろん、採用試験のことやプライベートなことまで、い

と、逆にやってあげればよかったと思うことは？

頑張っていたことは：献血です。（笑）4年間で30回近くはしました。これまでのトータルは43回です。今年中に50回を超えることが目標です。後悔していることは勉強不足。特に読書をあまりしなかったことでなく、生徒との会話の糸口になつたりすることに最近気がつきました。

Q4 仕事のやりがい、心がけていることは？

教師という職業のやりがいを挙げました。県外で教員をしている同級生とは今でも連絡を取り合っていて、私にとって良き相談相手です。先生時代と同様に、私にとつて良き相談相手です。先生時代と同様に、私にとつて良き相談相手です。

ろんな話をしてきた「Who dares to teach must never cease to learn.」という言葉です。簡単に言うと、「教育者こそ学ぶこと、生を止めるな」ということ。もう一つは、私が3月まで務めていた宮崎県立高千穂高等学校の元校長先生から教えていただいた「師弟同行」という言葉です。学習、挨拶、清掃活動など、自分から積極的に行動するようになっています。



私は4月から県立都城泉ヶ丘高校に赴任しました。そこでは、野球部の副部長をさせて頂いています。

Q6 学生へのメッセージ

いろんなことに精一杯チャレンジしてください。学生時代、特に大学生のときにしかできないこと、たくさんある気がします。時間、費用などの制約もあるでしょうが、そこをうまく工夫して解決することも今しかできないこと。頑張ってください。

18909091

M M U 通信

「凌雲の志」

今回は、凌雲祭をゼロから始め、第一回凌雲祭実行委員長を務めた馬場勇次様にお話をお聞きしました。

当初、何の準備もなく、全員でゼロから作り上げた行事「凌雲祭」。当時私がパンフレットに書いた文章は次のようなものでした。

「最近では大学祭離れにも見られるように「学生の大学への無関心」がよく言われます。昔と今の学生の違いとは一体何なのでしょう。今の学生に足りないものとは、我が大学祭の由来である「凌雲の志」ではないでしょうか。歴史もなく伝統もない大学で作られていくこの凌雲祭。白紙であるからこそできることを私たちなりに最大限表現したいと思えます。」

第一回のテーマは「Be Free」〜井の中の蛙大海に出でよ〜。自由であるということは、ある意味創造の苦しみでもあります。振り返ってみると当時の公立大生のフロンティアパワーをあらわした素晴らしいテーマではないかと思えます。

いつの間にか、伝統となったことが嬉しくもあり、寂しくもあります。常に白紙の状態から何かを作り上げる自由、「創造」こそ、大学生に許される権利ではないでしょうか。

後輩の皆さん。今の皆さんにしかできないことに全力を尽くしてください。そして、新たな「凌雲祭」、新たな伝統を作り上げてください。先輩の一人として期待しています。

第一回凌雲祭実行委員長 馬場 勇次

（星本結香）

後期スケジュール

10月
後期開始

11月
凌雲祭

12月
冬季休業

2012年 1月
センター試験
卒論提出期限

2月
前期入試
春季休業

3月
後期入試
卒業式



PASSION MAKING STAFF!!



PASSION 宮崎公立大学広報誌 VOL. 9

発行日：平成 23 年 7 月
発行者：井上雄二
住所：〒 880-8520 宮崎市船塚 1- 1- 2
電話：0985-20-2000
URL：<http://www.miyazaki-mu.ac.jp>

発行：宮崎公立大学
編集者：ジャーナリズム論ゼミ

© 宮崎公立大学